

## 執筆要領に付する単位表記について

### ■ 基本ルール

- 1) 単位は原則として SI 単位を使用し、記号で表記する。SI 単位以外であっても、SI 単位と一意的な関係があり、誤解を生じないものであれば、使用可能である。また、時間や個数、金額などは日本語表記でもよい。
- 2) 組み立て単位は、なるべくべき乗で表現する。"/ (スラッシュ、斜線)" を使用してもよいが、使用は 1 回以内に限る。べき乗とスラッシュの併用は望ましくない。
- 3) 文字に単位を付すときは、単位を [ ] で囲む (例: P<sub>A</sub> [MPa])。
- 4) 数値に単位を付すときは、単位を [ ] で囲まずに、数値と単位の間を半角空ける (例: 5.4 × 10<sup>4</sup> ng m<sup>3</sup>)。
- 5) 文字や数値を単位で除する表現方法も使用可能である。
- 6) 10 のべき乗 (10<sup>5</sup> など) を使用することとし、1E-5 などの表現は使用しない (計算表などで現れるのはかまわない)。また千、万などの日本語表記でもよい。

### ■ 使用可能な単位一覧

注) この一覧になくても、同様の表記であれば、使用可能である。ただし、一部、推奨されないものもあるので、それらについては理由を付して示している。

#### 基本単位

<b>長さ</b>								
m	nm	μ m	mm	cm	km			
<b>面積</b>								
m <sup>2</sup>	mm <sup>2</sup>	cm <sup>2</sup>	km <sup>2</sup>	ha				
<b>体積</b>								
m <sup>3</sup>	mm <sup>3</sup>	cm <sup>3</sup>	km <sup>3</sup>	L	μ L	mL	kL	Nm <sup>3</sup> もしくは m <sup>3</sup> N <sup>*1</sup>
<b>質量</b>								
g	pg	ng	μ g	mg	kg	ton <sup>*2</sup>		
※換算単位については、gC、gCO <sub>2</sub> と記載することで、炭素換算か二酸化炭素換算かを明記することは推奨される。								
<b>温度</b>								
K	°C							
<b>時間</b>								
s	μ s	ms	min	h	d	w	month (=30 d)	y (=365 d)
日	週	月 (=30 日)	年 (=365 日)					
<b>モル数</b>								
mol	nmol	μ mol	mmol	kmol	eq (当量) <sup>*3</sup>			
<b>電荷</b>								
C								
<b>照度</b>								
cd								
<b>人・個数・件数・回数</b>								
人 (person)	世帯	自治体	個	件	回			
<b>金額</b>								
円 (¥, JPY)	ウォン	ユーロ (€、EUR)	元	米ドル (US\$, USD)	香港ドル など			

## 組み立て単位

<b>濃度・組成</b>										
mg/kg = mg kg <sup>-1</sup>		mg/L = mg L <sup>-1</sup>		mg/m <sup>3</sup> =mg m <sup>-3</sup>		ng/Nm <sup>3</sup> = ng Nm <sup>-3</sup>				
mol/L = mol L <sup>-1</sup> = M										
ppmv (= mL/m <sup>3</sup> = mL m <sup>-3</sup> )				% (湿ベース)			% (乾ベース)			
※ppmは推奨されない (理由: 質量比であるのか体積比であるのかが不明確なため。ただし、適切な説明があれば使用可)										
<b>速度・率</b>										
mol m <sup>-2</sup> s <sup>-1</sup>		mol/(m <sup>2</sup> s)								
J mol <sup>-1</sup> K <sup>-1</sup>		J/(mol °C)								
tCO <sub>2</sub> /(人 日)		tCO <sub>2</sub> /(person d) *4		円/(人 日)		円/(年 世帯)				
※以下は推奨されない (理由:分母が不明確なため。スラッシュを 2 回以上使ったり、スラッシュとべき乗の混合使用も、推奨されない)										
mol/m <sup>2</sup> s		mol/m <sup>2</sup> · s		mol/m <sup>2</sup> /s		円/人/日		t/person d		t/person d <sup>-1</sup>
<b>エネルギー・仕事率</b>										
J	kJ	MJ	kWh(=3600000 J)			cal *5	W	mW	kW	MW
<b>圧力</b>										
Pa	atm	mPa	hPa	kPa	MPa	mmHg(=torr)		mmAq(=mmH <sub>2</sub> O)		
bar *6	psi *7									

\*1 ガス量を表すときに使用する。標準状態(0 °C、1 atm)での理想気体の体積のこと。Nm<sup>3</sup> と m<sup>3</sup>N のいずれの表現を使用してもよい。

\*2 トン(=1,000 kg)は、"t"、"ton"、"tonne"、"metric ton"のいずれの記載でもよい。ただし、大トン(イギリストン=1,016 kg)、小トン(アメリカトン=907 kg)は、使用しないこと。

\*3 equivalent (当量) の使用にあたっては予め定義しておくこと。

\*4 "kg per capita per day"は英文で記載するときには使用してもよいが、なるべく、"kg/(person d)"で記載する。

\*5 特段の理由がない限り、Jに変換されることが望ましい。

\*6 10<sup>5</sup> Pa のことであるが、なるべく、kPaなどで表現する。

\*7 装置条件などで psi が使われることがあり、その場合には使用してもかまわない。